

Layer Watcher

レイヤーウォッチャー

斃死鶏ナビゲーションシステム

特許申請受理No 2017-231062



「AI画像解析 × 自動走行ロボット」で 「養鶏場の働き方改革」を支援

- 斃死鶏のチェックにかかる時間が従来の5分の1に
- 磁気誘導式による正確・安全な走行を実現
- 独自のAI画像解析により、斃死鶏がある場所をピンポイントで特定
- 作業実施前に事務所で検知結果を動画チェックすることもできます

■ 最大5段までを一括撮影



- バーコンベア自動回避機能により最大5段ケージまで対応

■ 斃死鶏検知率はほぼ100%



- 農場テストでほぼ100%の検知率を達成(注1)
- 特に集卵ベルト上の斃死鶏は100%発見

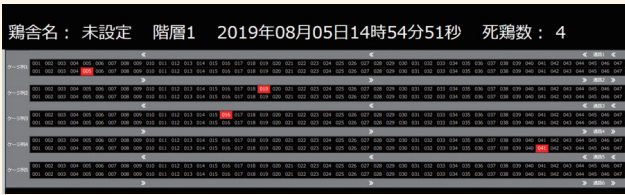
(注1) 検知率とは…

AI検知斃死鶏数を目視発見斃死鶏数で割った数値です。
目視発見斃死鶏は、ほぼ全てAIが検知した斃死鶏の範囲内に収まりました。

検知した斃死鶏を映像で確認し除去作業を効率化

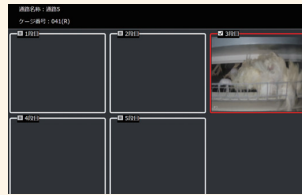
■ 斃死鶏の検知映像確認の流れ

赤反転されたケージ列番号を選択



AI解析の結果がPCに通知されたら、斃死鶏管理ソフトで確認画面を表示します。ケージ列番号が赤反転されている斃死鶏を発見した箇所を選択します。

斃死鶏の段を選択



選択したケージ列の段情報が表示されますので、斃死鶏の段を選択します。

検知映像が再生

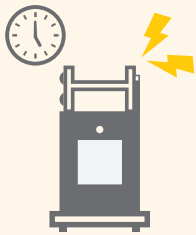


10秒間の検知映像が再生されます。休んでいるだけの鶏は動きがあるので斃死鶏では無いフラグを設定します。

斃死鶏の高精度な検知で除去作業時間を大幅短縮

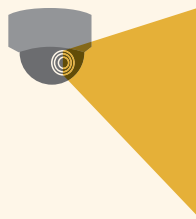
自動走行

早朝の給餌前の指定した時刻に自動で撮影がスタート



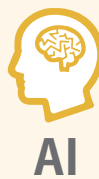
自動撮影

設定した走行路を自動走行し、全ゲージを撮影



AI解析

撮影映像をAIで画像解析し、斃死鶏を検知



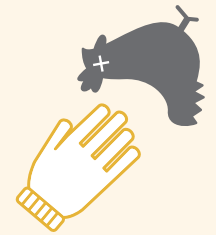
結果確認

解析結果をPCに通知し、画面と帳票で確認



死鶏除去

帳票のケージ列番号・段数を確認し、斃死鶏を除去



レイヤーウォッチャー製品仕様

利用環境	温度:0~40℃ / 湿度:20~80%	走行速度	8m/分
電源	バッテリーDC24V	撮影範囲	最大5段(両側同時撮影対応)
外形寸法	W:530 D:815 H:1950~2900(昇降機能有)	保護機能	障害検知センサー付
重量	約220kg	管理形態	各ロットデータのPC一括管理
誘導方式	磁気誘導式		

※備考 鶏舎環境・利用条件等については別途ご相談ください。

※レイヤーウォッチャーは株式会社コンピュータシステム研究所の登録商標です。 ※記載内容は、予告無く変更する事がありますので、ご了承ください。

[製造・発売元]

 **東西産業貿易株式会社**

本社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-8
TEL.03-3815-5445 FAX.03-3815-5560
www.tohzai-sangyo.co.jp

[開発協力]

 **株式会社 コンピュータシステム研究所**

▽お問い合わせ